

会 議 録

会 議 名	令和2年度第1回小金井市史編さん委員会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和2年7月30日(木) 午後6時から7時まで		
開 催 場 所	小金井市役所第二庁舎801会議室		
出 席 委 員	根岸委員長 牛米委員 中嶋委員 日高委員 井上委員		
欠 席 委 員	住野委員、大熊委員		
事 務 局 員	杉村文化財係長 高木主事(学芸員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	無
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 令和元年度の事業報告について</p> <p>(2) その他事業について</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 令和2年度の事業計画について</p> <p>(2) その他事業について</p> <p>3 次回の会議日程</p> <p style="padding-left: 40px;">令和2年10月12日(月)午後3時～</p> <p style="padding-left: 40px;">於：市役所第二庁舎8階801会議室</p> <p>4 配付資料</p> <p>(1) 令和元年度の事業報告について 資料1-1,2</p> <p>(2) 令和2年度の事業計画について 資料2</p> <p>(3) 「武蔵小金井まちかど歴史ミュージアムを開設します」 (参考資料)</p> <p>(4) 「小金井市史編纂資料第59編」</p> <p>(5) 東京の文化財第128号</p> <p>(6) 月刊こうみんかん4,5,6,7,8月号</p>		

会 議 結 果

杉村文化財係長 本日、厚生文教委員会のため副市長及び教育長の委員2名が、終わり次第駆けつける予定ですのでご了承ください。生涯学習課長についても同様です。

新型コロナの影響で5月11日から延期しての開催となりますが、感染拡大防止対策のため、会議時間はできるだけ短縮に努めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。今年度の市史編さんの体制は前年と同様、高木と市史編さん担当の会計年度任用職員の体制となります。それでは、この後の議事進行を根岸委員長にお願いいたします。

根岸委員長 会議時間短縮のためご協力よろしくお願いいたします。

1 報告事項

(1)令和元年度の事業報告について

(2)その他事業について

高木主事(学芸員) 令和元年度の市史編さん事業についてご報告いたします。

—資料1を説明—

年3回市史編さん委員会を開催しました。小金井市史が一区切りした翌年度ということで、次の事業計画に向けてご協議いただきました。さらに11月2日には市史刊行記念講演会を行い、盛況のうちに終わりました。市史完成の特別企画として古文書講座「小金井市史を読む」を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から中止とさせていただきます。また刊行物としては「市史編纂資料裁59編 梶野新田梶野家文書(4)」を刊行いたしました。古文書調査としては梶野家文書の一部を筆写しています。

2 議 題

(1)令和2年度の事業計画について

(2)その他事業について

高木主事(学芸員) —資料2を使って説明—

委員会は本日を含めて3回開催する予定です。編集委員会議は、令和3年度に刊行を目指す、年表編・索引編の編集に係る協議を行うためのもので、必要に応じて委員を招集し実施します。編集委員は、市史通史編等の整合性に関わりますので、部会長を務められました、根岸委員長、日高委員、牛米委員、中嶋委員の4名とさせていただきます。

続いて、市史年表編・索引編についてです。通史編では掲載できなかった、時代年表に加えて、通史編の索引を併せたものを一つの本として来年度に刊行する計画です。

年表の作成に向けて事務局で作業を進めております。また、編集におきましては、編集委員の方々とご相談しながら作業を行っていきますので、よろしくお願いいたします。

次に市史編纂資料の刊行についてですが、60編目となる今回は、「市内所在石造物の調査報告」を発刊予定です。市内に残る石仏や庚申塔、

石碑など、石造物の調査成果をまとめたものとなります。事務局と市民協力員で鋭意、作業を行っております。これまで旧小金井市誌で一部石造物を取り上げておりますが、今回は現状分かる範囲全てのもを掲載したいと考えておりますので、今後の基礎資料になるものとして作成を図ってまいります。内容は文字資料全てと図面や写真の掲載を予定しております。時代は江戸時代以降から現代までとします。

次に市民協力員の活動についてですが、市民協働の立場から市史編さんの調査研究にご協力いただいております、今年度は閑野さんと美谷島さんに委嘱して、資料収集や整理を進めていただいております。閑野さんについては石造物の調査に功績がありますので、引き続き今回の石造物の調査報告にも携わっていただきます。美谷島さんは市史編さんのスタッフとして長年関わっていただいた実績がありますので、主に古文書関係の調査を一緒に進めていきたいと思っております。

次に調査員の活動についてです。小金井市史通史編の刊行をもって、それまでの4部会については活動を終了しています。編さんに必要な調査、資料収集について、外部調査員が必要ということで、柏木さん1名にお願いしております。主に幕末以降近代の資料を収集、確認調査をお願いしておりますが、市史年表索引編に係る資料に携わっていただきます。

市民協力員の畑野さんについてですが、昨年度末で退任されました。10年の長きにわたって、市内の歴史を精力的に調査され、その成果は小金井市史刊行にも大いに役に立ったところですし、市史編さん事業の大きな財産となりました。今後は自主的な郷土史研究は続けられ、その成果は引き続き事務局にご提供いただけることとなっております。早速、市内の道路の歴史や画家の調査報告をいただきました。

根岸委員長 ここが一番大きいのは年表索引編かと思いますが、それについてご意見等いかがでしょうか。この原稿はどこで作るのですか。

高木主事(学芸員) 原稿は事務局で作ります。必要な情報や資料を柏木さんに依頼して、各研究機関への資料の問合せや確認をしております。

根岸委員長 まだ体裁などは決めていない状態で、まず原稿を作るということですか。

高木主事(学芸員) 本の体裁は検討中の段階です。それらを決める前に、通史編、資料編から年表に入れる項目を抜き出しているところで、全体の総量も確認したいと思っています。

根岸委員長 できれば早いうちに編集委員で集まって、体裁や掲載のルール等を決めてしまった方が効率的かと思いますが。

高木主事(学芸員) 事務局で形を作って先生方にご意見伺います。

日高委員 年表には、小金井市だけでなく日本全体の歴史も入れていくのですか。

高木主事(学芸員) はい。

日高委員 日本全体の歴史の内容を選択するのは難しいし、分量のバランスも考える必要があるのでは、いくつか他のものも参考に調べた方がいいと思

高木主事 (学芸員) ます。

根岸委員長 検討します。

高木主事 (学芸員) できれば体裁案みたいなものを示してもらえると。たとえば縦書き横書き、小金井のこと全国のことに分けたもの、あるいは小金井の中で政治的なこと文化的なことに分けたものとか。近世まではそこまで必要ないと思うが、近現代になると分けた方が分かりやすいのでは。

高木主事 (学芸員) 現状ではこれまでの体裁を踏襲してA5判を想定しています。小金井のこと全国のことの区分については、見せ方を工夫する必要があると考えています。

日高委員 以前の会議で、資料編、通史編に繋がるように、出典を記すというような話があったかと思いますが。

高木主事 (学芸員) 出典を記す考えを持っています。

根岸委員長 横書き見開きの方がいいかもしれません。縦書きだと数字が漢数字になりますし。

日高委員 その方がいいかもしれません。見開きで2頁ずつの形にした方が、多分項目も色々書けると思います。

根岸委員長 近世までとそれ以降とで時代によって項目の分け方を変えてもいいかもしれません。

日高委員 索引編も一冊にまとめるということでした。

高木主事 (学芸員) 通史編の索引編として、固有名詞、地名、人物名等の事項を抜き出して、関連頁を記載します。

根岸委員長 たとえば最初の何頁かでも、先生方に必要な項目に印をつけてもらおうと、どんな項目が必要か見えてくるのではないですか。

高木主事 (学芸員) そうしていただくと大変ありがたいです。

根岸委員長 先生方にご協力をお願いしてもよろしいでしょうか。

日高委員 抜き出す項目をどれくらいのレベルまで捨うかは難しいですね。

高木主事 (学芸員) 事務局で必要と思われる項目を抜き出して案をお示しします。

井上委員 たとえば貫井とかそういった地名を挙げていくと、きりがなくあるのですが、一方で、色々な時代にぼろっぼろっと出てくるものが索引にあると、歴史的にどう変遷していったかということ、そこから見ていくことができますよね。だからどのレベルまでそれをするかですよ。

日高委員 それが索引のいいところですよ。

根岸委員長 事務局の方で案をとということでしたら、通史編をコピーしたものに印をつけてもらって、こちらに見せてもらって検討してはどうでしょうか。

根岸委員長 それでは次回までにそれもお願いします。

高木主事 (学芸員) はい。

根岸委員長 つぎは石造物について、日高先生お願いします。

日高委員 中世までさかのぼるものはないということですか。

高木主事 (学芸員) 全くないということではありませんが、ここ1～2年で評価が変わっ

てきているものがあるため、今回は対象としません。

根岸委員長
高木主事(学芸員)

次に2のその他事業についてお願いします。

多摩郷土史フェアは、1月16、17日の2日間を予定しておりますが、新型コロナウイルス関連の状況を見て、主催である東京都市社会教育課長会文化財部会では、現在開催について検討中です。

つづいて地域史講座です。これは古文書講座から名称変更したもので、古文書に限らず、市史編さん資料や古文書・遺跡情報から、地域の歴史について学習する内容のものです。前年度中止になった古文書講座「小金井市史を読む」の実施についても、新型コロナウイルスの関係でまだ決めかねている状況です。

根岸委員長

講演などもオンラインで実施するものが多くて、おそらく状況が落ち着いてもこういった傾向は増えていく気もしますので、実施方法についても考えてもいいのではと思います。

高木主事(学芸員)

報告は以上です。

併せて参考資料の説明です。市役所前の商業施設が6月30日にグランドオープンしました。この商業施設内の4階の一角に、「武蔵小金井まちかど歴史ミュージアム」を開設いたしました。小さな展示ではありますが、本町六丁目遺跡の発掘調査の成果を含めた、小金井の駅前地域の歴史を学べる内容となっております。今後このスペースは展示内容を変えながら、小金井の歴史に触れてもらう場所にしていきたいと思っています。